議事資料（1）

上下水道事業経営審議会
令 和 4 年 2 月 15 日

令和４年度盛岡市水道事業会計予算（案）の概要

盛　岡　市　上　下　水　道　局

令和４年度　盛岡市水道事業会計予算（案）の概要

Ⅰ　はじめに

本市の水道事業は，昭和９年の創設から現在に至るまで着実に普及が進み，令和２年度末の普及率は98.2%に達しています。これからの水道事業の主眼は，施設の「建設」から「維持・更新」に移ってきており，今後は新型コロナウイルス感染症による影響も不透明な中で，近年多発している台風や地震等の自然災害への備えや老朽化の進む施設の計画的な更新などが課題となっています。

これらの課題に応えるため，令和４年度は重要給水施設配水管整備事業及び経年管対策（更新）事業を進め，管路の耐震化率向上を図るとともに，浄配水場施設等の再構築に向け，米内浄水場の更新計画策定や，中屋敷浄水場休止後に建設する中屋敷ポンプ場の基本設計等を実施します。

これからも，安全でおいしい水を安定的に供給する強靭な水道システムを築き，将来にわたってお客さまから信頼される水道を目指し，盛岡市総合計画及び第三次盛岡市水道事業基本計画の五つの施策の方向性に基づき，今後策定される盛岡市国土強靭化地域計画も踏まえ，将来を見据えた持続可能な事業運営を推進します。

Ⅱ　主要事業について

施策１　安全で良質な水道水の供給

水源を良好な状況で保全するため，水源涵養林を適正に管理するほか，浄化槽設置を促進するための負担金の支出を行い，盛岡市水道水源保護条例の適切な運用を図ります。

水質検査の管理体制の充実を図り，水安全計画に基づく水質管理を行うとともに，浄水処理方法の調査研究を進め，多様化するリスクへの的確な対応に努めます。

また，配水量の監視機能の強化を図るとともに，各種補助制度のPRにより，老朽化した私設配水管の更新及び鉛製給水管の解消に努めます。

単位：千円

施策大分類	主要事業の内容	予算額
(1) 水道水源の保全	水源涵養林植栽地下刈り外業務委託 13.86ha	3,396
	盛岡市浄化槽設置整備事業補助金に係る負担金	1,854
(2) 水質管理体制の強化	水質検査機器更新費	18,215
(3) 安全な水道の普及促進	水道メーター関係委託料・修繕費	192,733
	能力増強事業 910m（境田町，東桜山，大通，飯岡新田）	152,480
	未給水地域解消事業　１地区（湯沢）	29,080
	配水管クリーニング工事	20,214
	私設水道管設置費補助，資金融資等	10,030
	鉛製給水管修繕，鉛製給水管解消工事費補助	24,009

施策２　災害対策の充実

災害の発生に備え，基幹施設や医療・福祉施設に関わる重要管路の耐震化を推進するとともに，水道水供給のバックアップ機能の強化や給水タンク車１台の更新を含む応急給水体制の整備に努めます。

また，長時間の停電にも対応できるよう，上下水道局本庁舎及び浄配水場等施設の自家発電設備の整備を進めます。

単位：千円

施策大分類	主要事業の内容	予算額
(1) 施設の耐震化	重要給水施設配水管整備事業 451m（上田，青山，西下台町）	609,519
(2) バックアップ機能の強化	配水幹線整備事業 422m（東中野，杜の大橋）	335,956
	配水調整ブロック等設定	52,001
(3) 災害対応の充実	給水タンク車更新・応急給水袋・給水缶	26,848
	業務用無線機器賃貸借	2,367
	災害時レンタカー・ETC 申込手数料	507
	災害支援システム機器賃貸借・通信費	1,238
	局本庁舎非常用自家発電機設置設計業務委託	1,467
	浄配水場等自家発電設備整備事業	4,633

施策３　計画的な施設の更新・改良

老朽化の進む浄配水場施設や管路に対し，計画的な更新等を進めるとともに，適切な維持管理・修繕を実施し，漏水や赤水の発生を防止します。

単位：千円

施策大分類	主要事業の内容	予算額
(1) 取水・浄水・配水施設の更新・改良	浄配水場施設整備事業	984,601
	経年導送水管更新事業	33,066
(2) 管路の更新・整備	経年管対策事業　7,330m	893,269
	区画整理関連事業 2,040m	146,703
	道路改良関連事業 2,225m	292,657
	下水道等関連事業 635m	153,759
	配水管整備事業（玉山地域）　4,850m	466,044
(3) 適正な維持管理	浄配水場施設維持管理費	435,084
	配給水管維持管理費	102,558
	水管橋等防食修繕工事　２箇所（沢田橋，中米内水管橋）	44,206
	配・給水管漏水調査業務委託	39,732
	流量計設置工事　３地内（５箇所）	43,741

施策４　お客さまサービスの向上

お客さまのニーズに応えるため，民間企業が持つノウハウやネットワークを活用し，窓口業務の充実とともに，毎月徴収制度や口座振替割引制度などの周知を図り，お客さまサービスの向上に努めます。

また，市広報紙，上下水道局広報紙「みずの輪」及びホームページ等による情報発信を行い，親しみやすい広報展開に努めます。

単位：千円

施策大分類	主要事業の内容	予算額
(1)お客さまの利便性・満足度向上	検針・料金徴収業務民間委託	330,924
	口座振替割引・口座振替・コンビニ納付・スマートフォン決済（LINE Pay，PayPay，Ｊ-Coin Pay，au PAY）・ペイジー取扱経費	77,216
(2)広聴・広報の充実	ホームページ運用保守管理及び広報紙制作等業務委託，パンフレット作成業務委託	5,603
	市広報紙「広報もりおか」掲載料	711
	水道施設見学会，水道サービス週間，凍結防止キャンペーン等の実施	3,951

施策５　健全経営の推進

債権管理を徹底し，コロナ禍においても水道料金をはじめとする事業収入の確保に努めるとともに，将来予想される施設の更新需要の増加に備え，建設投資の内容の精査・検討を行い，一層の経営効率化を推進します。

また，将来の水道事業を担う人材の育成に努めます。

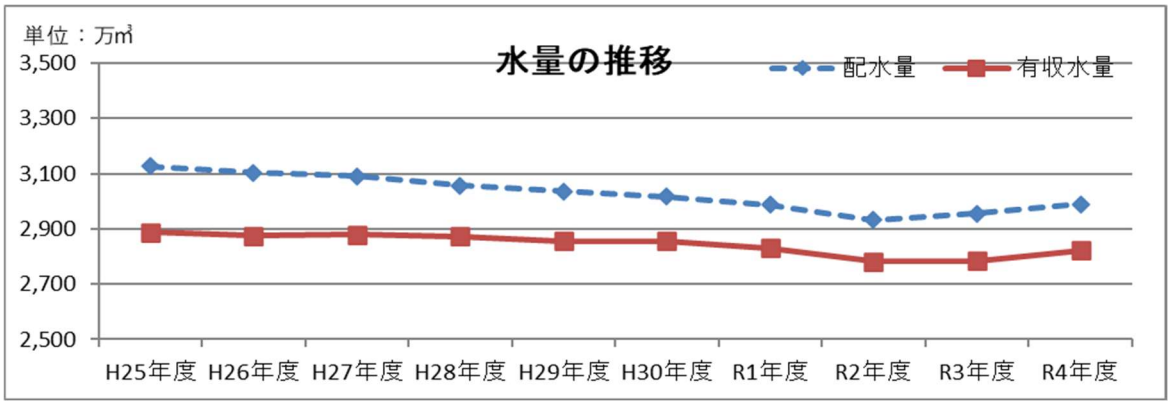
単位：千円

施策大分類	主要事業の内容	予算額
(1)経費の削減・効率化の推進	財務会計・文書管理システム委託料 図面情報管理システム賃貸借等	71,340
(2)収入の確保・財政基盤の強化	投資有価証券（国債・地方債）購入	700,000
(3)人材育成・技術継承の推進	企業職員研修費等	8,533

Ⅲ．業務量について

令和４年度の業務量は，前年度に比較し，配水量で 1.1％の増，有収水量で 1.4％の増とし，有収率は前年度より 0.2％高い 94.4％と見込んだ。

区分＼年度	令和４年度 (A)	令和３年度 当初(B)	比較増減 (A)-(B)	増減率	令和３年度 見込(C)	比較増減 (A)-(C)	増減率
給水せん数（栓）	138,390	136,892	1,498	1.1%	137,402	988	0.7%
配水量（千㎥）(ｱ)	29,892	29,556	336	1.1%	29,999	△107	△0.4%
有収水量(千㎥)(ｲ)	28,212	27,833	379	1.4%	28,210	2	0.0%
有収率（%）(ｲ)/(ｱ)	94.4	94.2	0.2		94.0	0.4	



Ⅳ．予算規模について

１．収益的収入及び支出

収入について本年度は，7,946,169 千円を予定し，前年度予算額 7,729,794 千円に比較し，216,375 千円（2.8％）の増とした。また，給水収益は，6,739,246 千円を見込み，前年度予算額 6,600,705 千円に比較し，138,541 千円（2.1％）の増とした。

支出について本年度は，6,396,707 千円を予定し，前年度予算額 6,326,274 千円に比較し，70,433 千円（1.1％）の増とした。増の主なものは，修繕費 92,538 千円，退職給付費 66,790 千円，有形固定資産減価償却費 39,257 千円である。これにより，本年度予算における純利益は 1,280,479 千円となり，前年度予算額 1,194,023 千円に比較し，86,456 千円の増となった。

２．資本的収入及び支出

収入について本年度は，1,059,061 千円を予定し，前年度予算額 898,454 千円に比較し，160,607 千円（17.9％）の増とした。増の主なものは，出資金 122,059 千円，国庫補助金 114,282 千円である。うち，一般会計出資金は，安全対策事業分として，190,000 千円，統合簡水分として 3,030 千円を見込んだ。

支出について本年度は，6,530,498 千円を予定し，前年度予算額 5,910,477 千円に比較し，620,021 千円（10.5％）の増とした。増の主なものは，配給水施設費 673,799 千円である。なお，収入額が支出額に不足する額 5,471,437 千円は，損益勘定留保資金等で補填するものとする。

Ⅴ 水道事業会計予算の概要

（単位：千円，％）

区分			令和４年度 予算額（Ａ）	令和３年度予算との比較 予算額（Ｂ）	令和３年度予算との比較 比較増減（Ａ－Ｂ）		令和３年度決算見込との比較 決算見込額（Ｃ）	令和３年度決算見込との比較 比較増減（Ａ－Ｃ）	
収益的収入及び支出	収入	１．給水収益	6,739,246	6,600,705	138,541	2.1	6,743,290	△4,044	△0.1
		２．長期前受金戻入	693,020	655,026	37,994	5.8	659,905	33,115	5.0
		３．引当金戻入益	149,941	146,653	3,288	2.2	126,575	23,366	18.5
		４．その他	363,962	327,410	36,552	11.2	334,913	29,049	8.7
		合計	7,946,169	7,729,794	216,375	2.8	7,864,683	81,486	1.0
	支出	１．営業費用	6,063,831	5,891,402	172,429	2.9	5,636,392	427,439	7.6
		（原水及び浄水費）	(1,214,824)	(1,238,080)	△23,256	△1.9	(1,132,051)	82,773	7.3
		（配水費）	(364,687)	(374,683)	△9,996	△2.7	(372,004)	△7,317	△2.0
		（給水費）	(237,956)	(233,517)	4,439	1.9	(222,381)	15,575	7.0
		（メーター関係費）	(223,352)	(220,111)	3,241	1.5	(204,527)	18,825	9.2
		（漏水防止費）	(174,872)	(229,504)	△54,632	△23.8	(213,751)	△38,879	△18.2
		（受託工事費）	(44,334)	(44,360)	△26	△0.1	(20,173)	24,161	119.8
		（業務費）	(474,349)	(453,982)	20,367	4.5	(440,705)	33,644	7.6
		（総係費）	(846,177)	(665,292)	180,885	27.2	(588,393)	257,784	43.8
		（減価償却費）	(2,258,130)	(2,218,873)	39,257	1.8	(2,218,873)	39,257	1.8
		（資産減耗費）	(225,150)	(213,000)	12,150	5.7	(223,534)	1,616	0.7
		２．営業外費用	321,767	422,617	△100,850	△23.9	471,159	△149,392	△31.7
		３．特別損失	1,109	2,255	△1,146	△50.8	3,080	△1,971	△64.0
		４．予備費	10,000	10,000	0	0.0	10,000	0	0.0
		合計	6,396,707	6,326,274	70,433	1.1	6,120,631	276,076	4.5
	収支差引額		1,549,462	1,403,520	145,942	10.4	1,744,052	△194,590	△11.2
	税抜き純利益		(1,280,479)	(1,194,023)	(86,456)	(7.2)	(1,562,280)	(△281,801)	(△18.0)
たな卸資産購入費			112,200	90,000	22,200	24.7	900,000	△787,800	△87.5
資本的収入及び支出	収入	１．企業債	0	0	0	0.0	0	0	0.0
		２．工事負担金	483,743	556,474	△72,731	△13.1	609,173	△125,430	△20.6
		３．出資金	193,030	70,971	122,059	172.0	70,971	122,059	172.0
		４．国庫補助金等	356,287	242,005	114,282	47.2	228,816	127,471	55.7
		５．その他	26,001	29,004	△3,003	△10.4	43,506	△17,505	△40.2
		合計	1,059,061	898,454	160,607	17.9	952,466	106,595	11.2
	支出	１．建設改良費	4,473,141	3,797,300	675,841	17.8	3,041,350	1,431,791	47.1
		２．企業債償還金	1,356,357	1,412,177	△55,820	△4.0	1,412,177	△55,820	△4.0
		３．返還金	1,000	1,000	0	0.0	480	520	108.3
		４．投資その他の資産	700,000	700,000	0	0.0	700,000	0	0.0
		合計	6,530,498	5,910,477	620,021	10.5	5,154,007	1,376,491	26.7
	資本的収支不足額		5,471,437	5,012,023	459,414	9.2	4,201,541	1,269,896	30.2

※　資本的収支不足額 5,471,437千円は，減債積立金 1,356,357千円，建設改良積立金 2,066,083千円及び当年度分損益勘定留保資金等 2,048,997千円で補填する。

Ⅴ．事業の概要について

（税込み額）

○ 収益的支出における主な事業　1,289,344 千円

１．浄水場維持修繕事業		387,712 千円
２．配水場維持修繕事業		5,713 千円
３．配水管維持修繕事業		128,766 千円
４．給水管維持修繕事業		38,212 千円
５．鉛給水管布設替事業		24,009 千円
６．水道メーター整備事業		192,733 千円
７．漏水防止調査，修繕事業		98,898 千円
８．水道料金等徴収業務委託事業		348,231 千円
９．図面情報管理システム事業		25,749 千円
１０．浄化槽設置促進補助事業		1,854 千円
１１．水源涵養林保全事業		3,396 千円
１２．水道事業市民サービス，広報事業等		21,263 千円
１３．配水監視システム推進事業		12,808 千円

○ 資本的支出における主な事業

１．配水管施設整備事業　3,378,095 千円

（１）安全対策事業	5路線	L＝	873m	（ 959,875 千円）
（２）未給水地域解消事業	1路線	L＝	410m	（ 29,080 千円）
（３）能力増強事業	4路線	L＝	910m	（ 152,480 千円）
（４）経年管対策（更新）事業	16地区	L＝	7,330m	（ 893,269 千円）
（５）給水管整理統合事業	1路線	L＝	100m	（ 14,782 千円）
（６）配水管整備事業（玉山地域）	6路線	L＝	4,850m	（ 466,044 千円）
（７）区画整理関連事業	4地区	L＝	2,040m	（ 146,703 千円）
（８）道路改良関連事業	8路線	L＝	2,225m	（ 292,657 千円）
（９）下水道等関連事業	6路線	L＝	635m	（ 153,759 千円）
(10) 配水調整区関連事業				（ 95,742 千円）
(11) 新規メーター取付費	2,627個			（ 7,951 千円）
(12) 消火栓設置事業				（ 2,227 千円）
(13) 水道資材単価調査業務委託				（ 6,166 千円）
(14) 建設資材等価格調査業務委託（単価契約）				（ 317 千円）
(15) 配水幹線布設工事に係る補償費				（ 10,000 千円）
(16) 事務費				（ 147,043 千円）

２．浄配水場施設整備事業　1,037,489 千円

（１）米内浄水場整備事業 …… （　112,139 千円）

（２）中屋敷浄水場整備事業 …… （　99,131 千円）

（３）沢田浄水場整備事業 …… （　538,860 千円）

（４）新庄浄水場整備事業 …… （　189,763 千円）

（５）生出浄水場整備事業 …… （　2,369 千円）

（６）水質管理センター整備事業 …… （　42,339 千円）

（７）浄配水場等自家発電整備事業 …… （　4,633 千円）

（８）経年導送水管更新事業 …… （　33,066 千円）

（９）事務費 …… （　15,189 千円）

３．その他施設整備事業　57,557 千円

（１）庁舎整備事業 …… （　1,467 千円）

（２）車両運搬具取得事業 …… （　29,757 千円）

（３）工具器具備品取得事業 …… （　26,333 千円）